

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和2年2月13日(2020.2.13)

【公開番号】特開2019-217405(P2019-217405A)

【公開日】令和1年12月26日(2019.12.26)

【年通号数】公開・登録公報2019-052

【出願番号】特願2019-182989(P2019-182989)

【国際特許分類】

A 6 1 M 1/14 (2006.01)

A 6 1 M 1/36 (2006.01)

A 6 1 M 1/16 (2006.01)

【F I】

A 6 1 M 1/14 1 1 0

A 6 1 M 1/36 1 0 3

A 6 1 M 1/36 1 0 1

A 6 1 M 1/36 1 0 7

A 6 1 M 1/36 1 0 5

A 6 1 M 1/16 1 0 7

【手続補正書】

【提出日】令和1年12月19日(2019.12.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

臨床動作モードにおける動作に先立って、タッチスクリーンのグラフィカルユーザインターフェースを構成する方法であって、前記方法は、

第1の信号に応答して、前記タッチスクリーンによって表示されるグラフィカルユーザインターフェースのタブ付き表示ページに関連付けられたセンサモジュール構成メニューインターフェースを表示するステップと、

第2の信号に応答して、前記タブ付き表示ページに関連付けられたセンサモジュール構成メニューインターフェースに関連付けられたセンサモジュールのための少なくとも1つのアラーム限界を設定するステップと

を含む、方法。

【請求項2】

前記第1の信号は、前記タブ付き表示ページのセンサモジュールのタッチまたは圧力起動可能モジュール設定メニューボタンの起動の結果として生成される、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記第2の信号は、前記タブ付き表示ページの前記センサモジュール構成メニューインターフェースのタッチまたは圧力起動可能ボタンの起動の結果として生成される、請求項2に記載の方法。

【請求項4】

第3の信号に応答して、ポンプ機能の前記タブ付き表示ページの前記センサモジュールとの選択的関連付けを可能にするために、前記タブ付き表示ページの前記センサモジュール構成メニューインターフェースの一部上にポンプ関連付けメニューインターフェースを

オーバーレイするステップをさらに含む、請求項1に記載の方法。

【請求項 5】

前記方法は、

第3の信号に応答して、前記タッチスクリーンによって表示される前記グラフィカルユーザインターフェースのタブなし表示ページの一部上にセンサモジュール構成メニューインターフェースを表示するステップと、

第4の信号に応答して、前記タブなし表示ページに関連付けられた前記センサモジュール構成メニューインターフェースに関連付けられたセンサモジュールのための少なくとも1つのアラーム限界を設定するステップと

をさらに含む、請求項1に記載の方法。

【請求項 6】

前記第3の信号は、前記タブなし表示ページの前記センサモジュールのタッチまたは圧力起動可能モジュール設定メニューボタンの起動の結果として生成される、請求項5に記載の方法。

【請求項 7】

前記第4の信号は、前記タブなし表示ページの前記センサモジュール構成メニューインターフェースのタッチまたは圧力起動可能ボタンの起動の結果として生成される、請求項6に記載の方法。

【請求項 8】

第5の信号に応答して、ポンプ機能の前記タブなし表示ページの前記センサモジュールとの選択的関連付けを可能にするために、前記タブなし表示ページの前記センサモジュール構成メニューインターフェースの一部上にポンプ関連付けメニューインターフェースをオーバーレイするステップをさらに含む、請求項5に記載の方法。

【請求項 9】

前記センサモジュール構成メニューインターフェースに関連付けられた前記センサモジュールは、圧力センサモジュール構成メニューインターフェースに関連付けられた圧力センサモジュール、または気泡検出センサモジュール構成メニューインターフェースに関連付けられた気泡検出センサモジュール、またはレベルセンサモジュール構成メニューインターフェースに関連付けられたレベルセンサモジュール、または温度センサモジュール構成メニューインターフェースに関連付けられた温度センサモジュール、または流量センサモジュール構成メニューインターフェースに関連付けられた流量センサモジュール、もしくは圧力デルタセンサモジュール構成メニューインターフェースに関連付けられた圧力デルタセンサモジュールである、請求項1に記載の方法。

【請求項 10】

対応するセンサモジュール構成メニューインターフェースに関連付けられた各センサモジュールは、圧力センサモジュール構成メニューインターフェースに関連付けられた圧力センサモジュール、気泡検出センサモジュール構成メニューインターフェースに関連付けられた気泡検出センサモジュール、レベルモジュール構成メニューインターフェースに関連付けられたレベルセンサモジュール、温度センサモジュール構成メニューインターフェースに関連付けられた温度センサモジュール、流量センサモジュール構成メニューインターフェースに関連付けられた流量センサモジュール、および圧力デルタセンサモジュール構成メニューインターフェースに関連付けられた圧力デルタセンサモジュールから成る群から独立して選択される、請求項5に記載の方法。

【請求項 11】

事前定義されたグラフィカルユーザインターフェース構成を選択すること、輝度およびアラーム音量から成る群から選択される少なくとも1つの選択可能アラーム設定を構成すること、または外部デバイスマニューを表示することを行うためのシステム構成メニューインターフェースを起動するステップをさらに含む、請求項1に記載の方法。

【請求項 12】

前記タブ付き表示ページの前記センサモジュールの前記少なくとも1つのアラーム限界

を受け入れ、イネーブルにするように、前記タブ付き表示ページの前記センサモジュール構成メニューインターフェースを閉じるステップをさらに含む、請求項1に記載の方法。

【請求項 1 3】

前記タブなし表示ページの前記センサモジュールの前記少なくとも 1 つのアラーム限界を受け入れ、イネーブルにするために、前記タブなし表示ページの前記センサモジュール構成メニューインターフェースを閉じるステップをさらに含む、請求項5に記載の方法。

【請求項 1 4】

前記タブ付き表示ページの前記センサモジュールの前記少なくとも 1 つのアラーム限界を受け入れ、イネーブルにするために、前記タブ付き表示ページの前記センサモジュール構成メニューインターフェースを閉じるステップをさらに含む、請求項1 3に記載の方法。
。